

高校生進路動向調査

1. 調査概要(対象・期間・実施方法・回収記録)
2. 回答者階層
3. 高校生進路動向調査 集計結果 中間報告

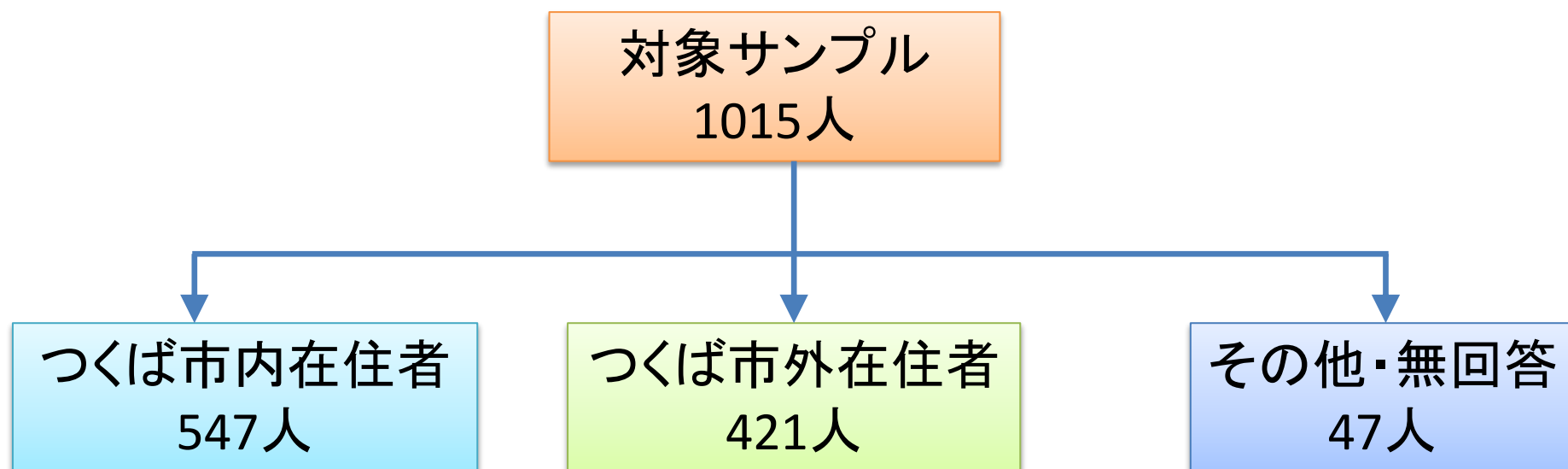
アンケート種類	対象	調査期間	実施手法
高校生アンケート	高校卒業予定者の進路動向を調査し、卒業又は就職時の就職地の希望やつくば市への定住希望等を把握する。	6月28日～	直接配布回収 ・県立竹園高校 ・県立筑波高校 ・県立つくば工科高校 ・県立茎崎高校 ・県立並木中等教育学校 ・県立つくば特別支援学校 ・茗溪学園高校 ・つくば秀英高校 ・つくば松実高校

アンケート回収記録

	配布数	回収数	回収率
Total	1500	1266	84.4%

回答者階層

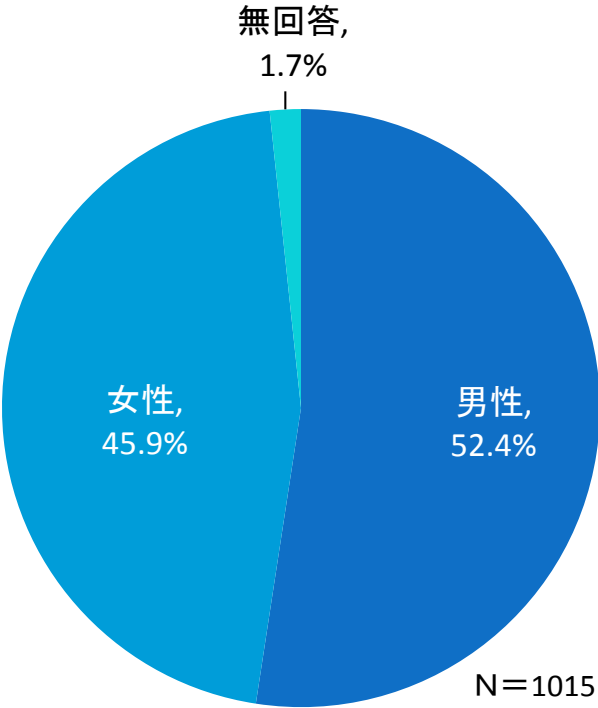
中間集計では先行して入力を行った1015通(全体の80%)で集計を行う。
今回の集計における各階層の分類。
集計表またはグラフにおけるNの値は、以下のように整合される。



回答者属性

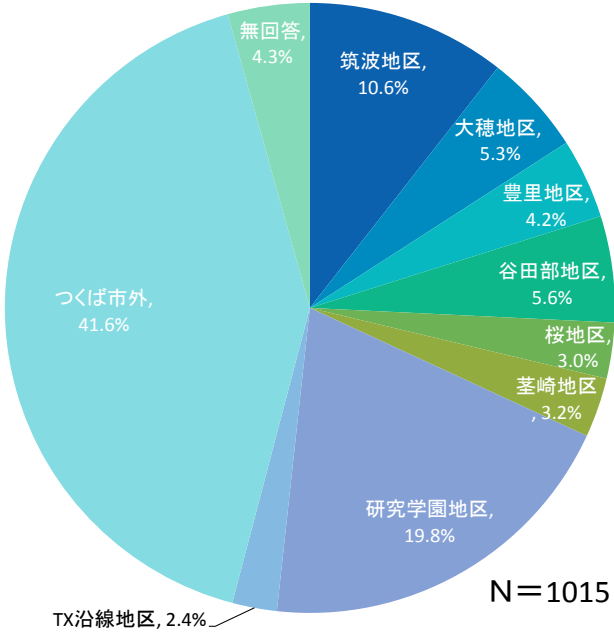
性別

- 男性が52.4%、女性が45.9%と男性の割合が高くなっている。



住まい

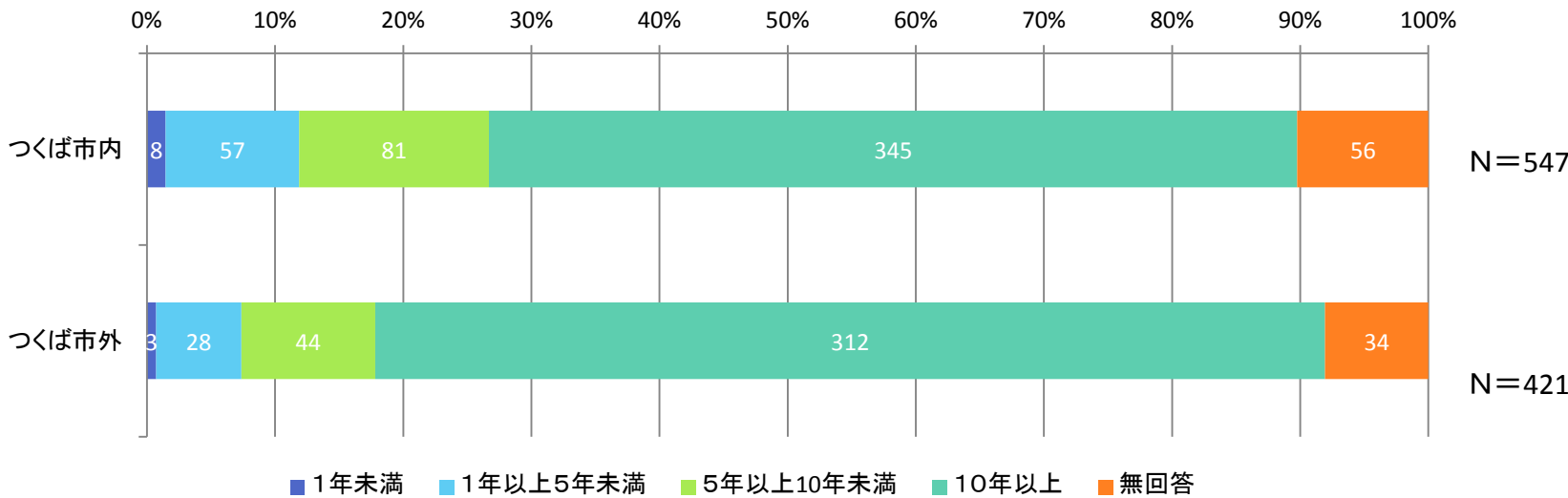
- 54.1%と半数以上の方がつくば市内に住んでいる。



回答者属性

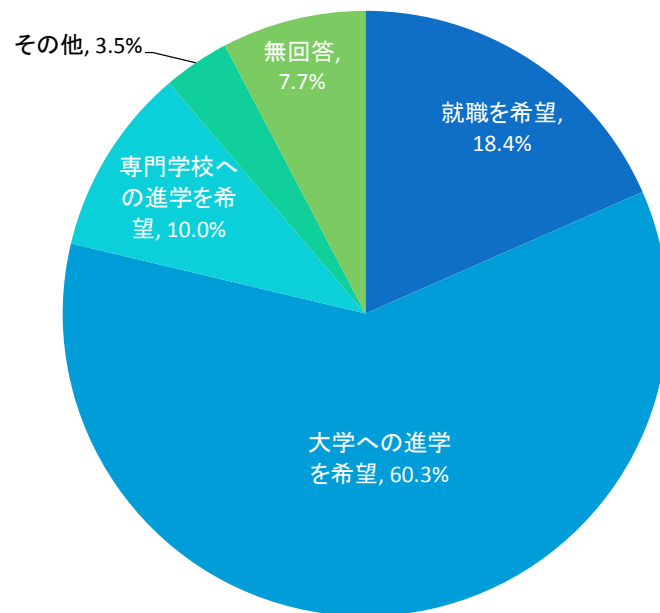
現在の居住年数

- つくば市内、つくば市外共に10年以上という回答が多い結果となった。
- また、10年未満と回答している人の割合がつくば市内の方が高いことから、子育て世代に関して、近隣市町よりも社会増の傾向が強いと考えられる。



就職に対する希望

希望進路



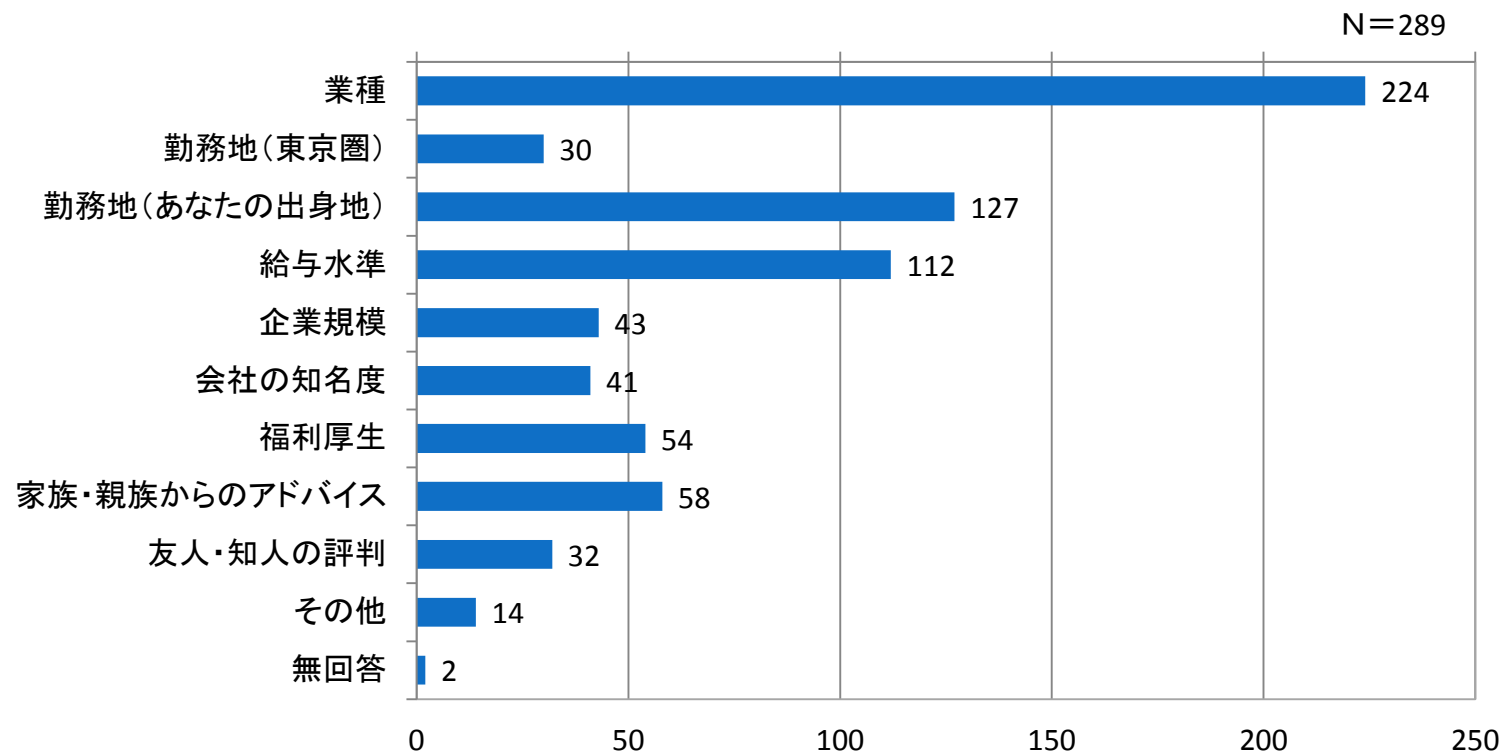
N=1015

- 希望進路については大学への進学が60.3%、就職が18.4%となっている。

就職に対する希望

就職先を決める際に重視すること

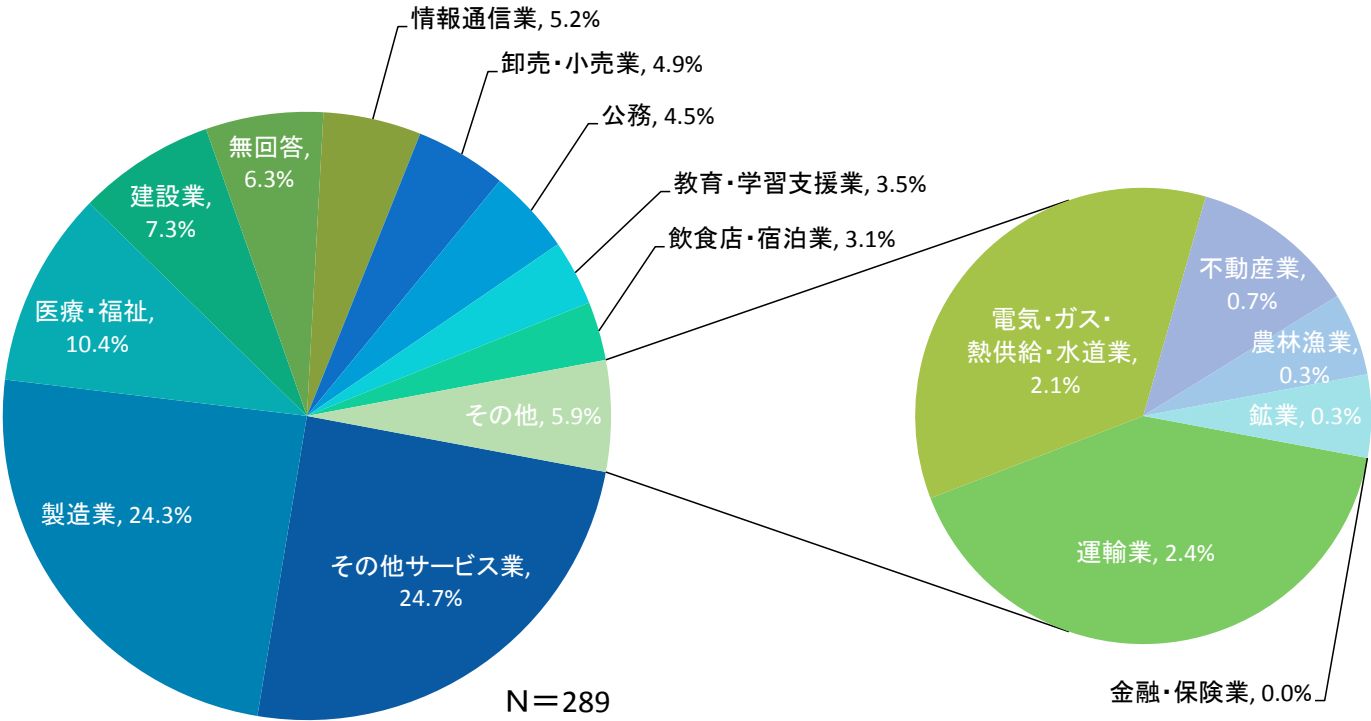
- 業種を重視する人が多い結果となった。
- 次いで、勤務地・給与水準という結果になった。



就職に対する希望

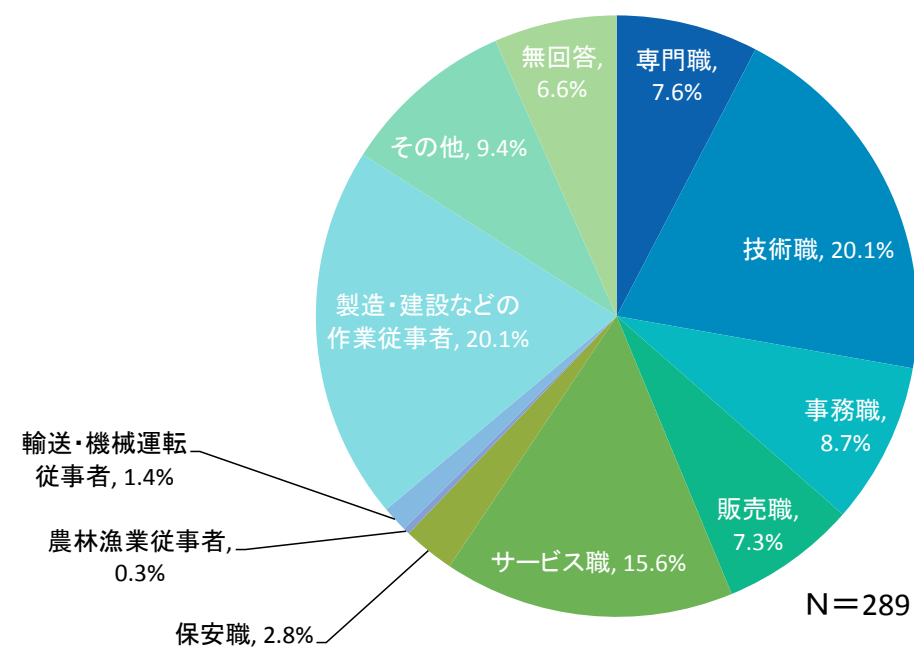
希望業種

- その他サービス業、製造業が多い結果となった。



就職に対する希望

希望職種



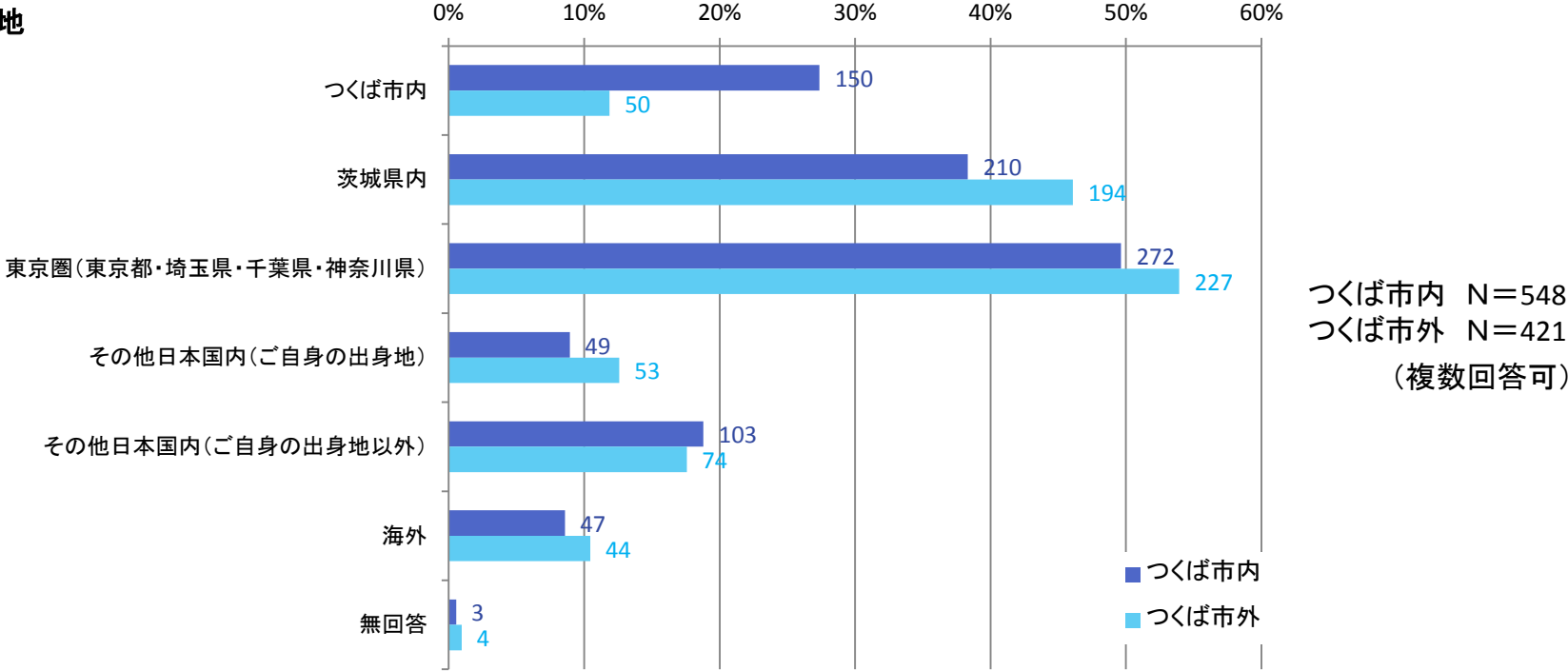
- 技術職、製造・建設などの作業従事者が多く、次いで、サービス職という形になった。
- 農林漁業従事者の希望は1人という結果になった。

就職に対する希望

希望勤務地

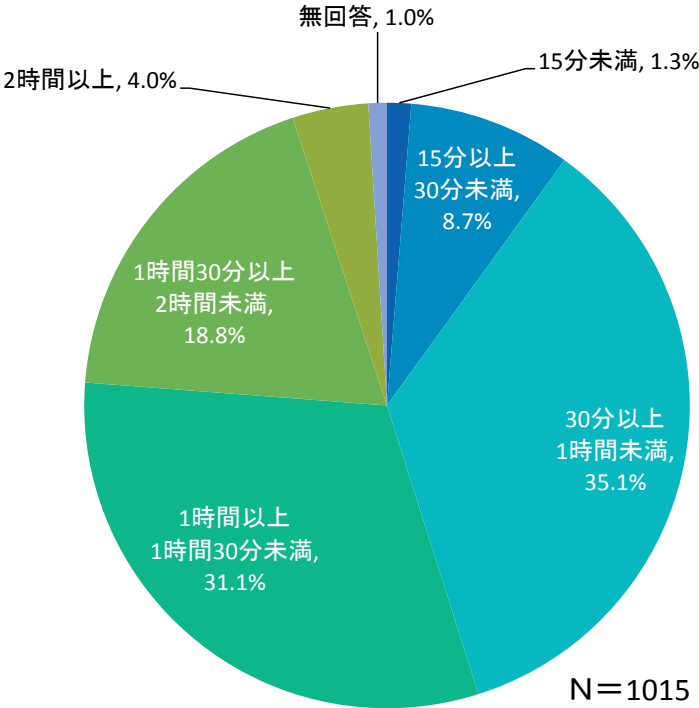
- 東京圏と回答した人が最も多く、次いで茨城県内という回答になった。
- つくば市内在住者の約25%が将来つくば市内で就職を希望する結果となった。

希望勤務地



就職に対する希望

通勤・通学時間として許容できる時間



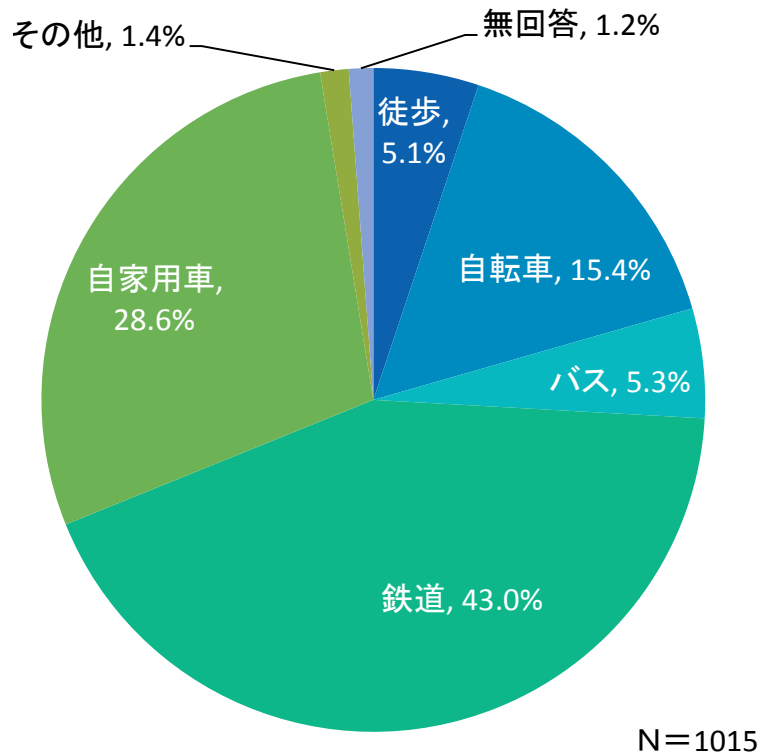
- 1時間未満と回答している人が約45%という結果となった。
- 1時間以上と回答している人が約50%いることから、通勤時間に対しては比較的許容できる時間が長い傾向がある。

※参考：東京圏までの所要時間（TX快速利用）

つくば駅から1時間	東京駅、池袋駅、船橋駅
つくばー北千住	34分
つくばー秋葉原	45分

住まいに対する希望

交通手段の想定

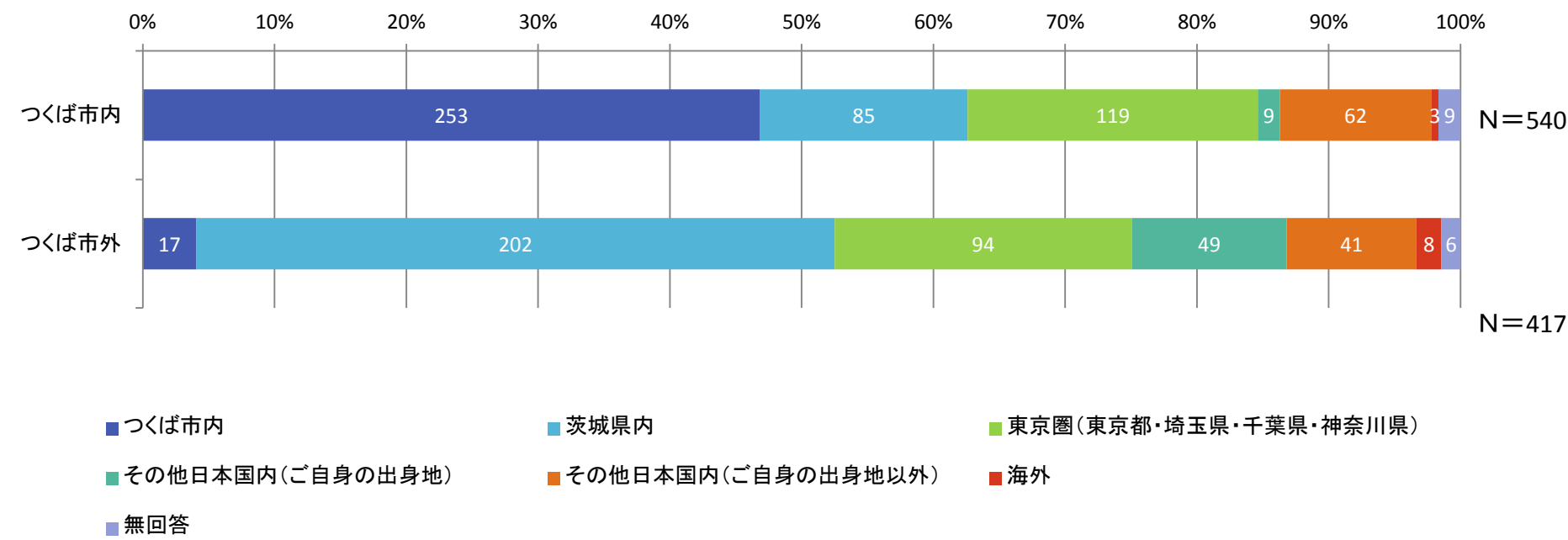


- 鉄道が43%と高い結果となった。
- 次いで、自家用車、自転車となっている。

住まいに対する希望

卒業後の住まい

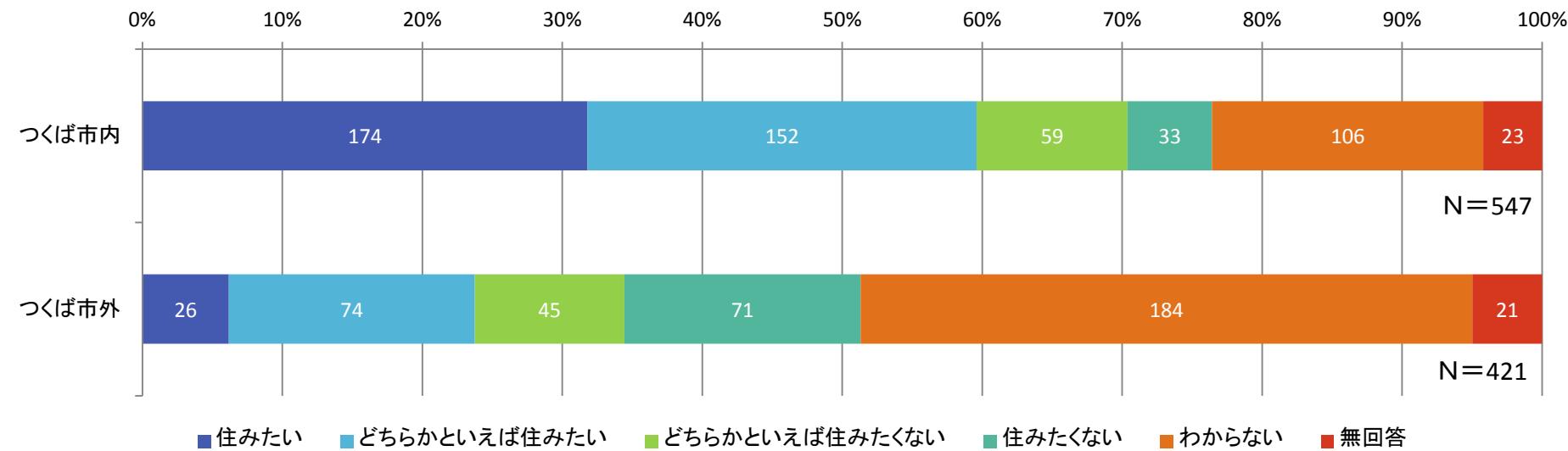
- つくば市内在住者の約45%が卒業後もつくば市に住む予定と回答している。



住まいに対する希望

つくば市に住みたいか(単身時)

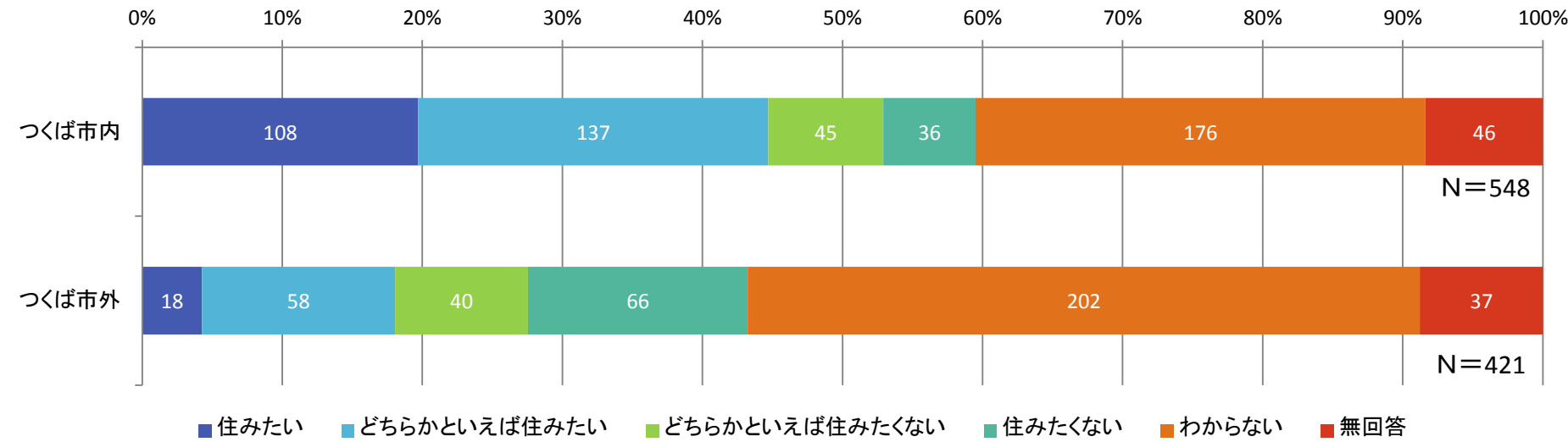
- つくば市在住者の約60%が「住みたい、どちらかといえば住みたい」と回答する結果となった。
- つくば市外でも約25%が「住みたい、どちらかといえば住みたい」と回答をしている結果となった。



住まいに対する希望

つくば市に住みたいか(結婚時)

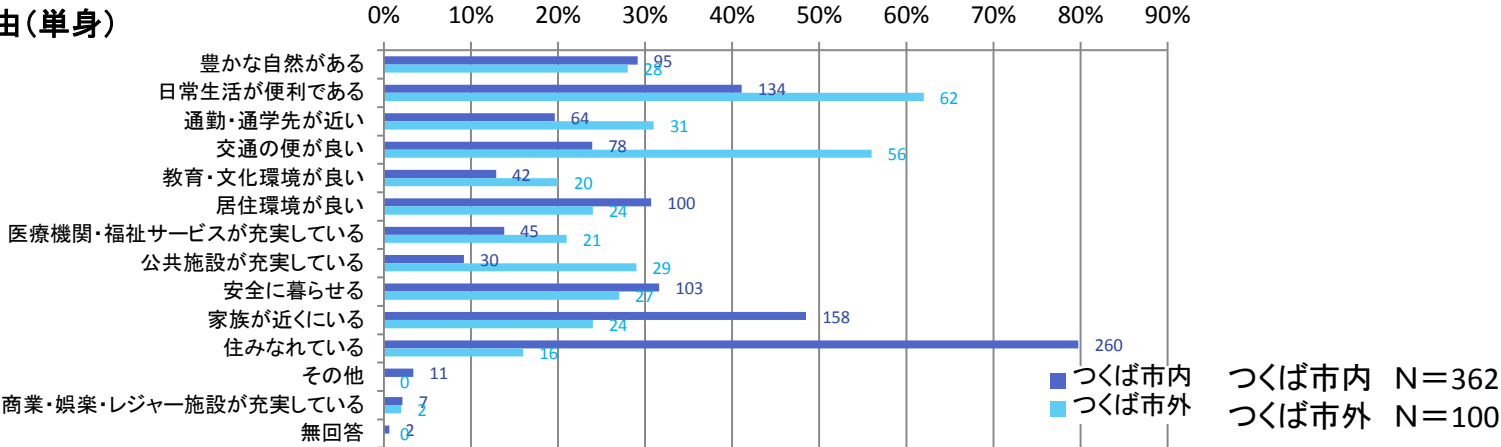
- つくば市在住者の約45%が「住みたい、どちらかといえば住みたい」と回答する結果となり単身時より15%程度少なくなっている。
- また、わからないという回答が市内、市外ともに多く、結婚時の想定についてはまだ未定な部分が多いと考えられる。



住まいに対する希望

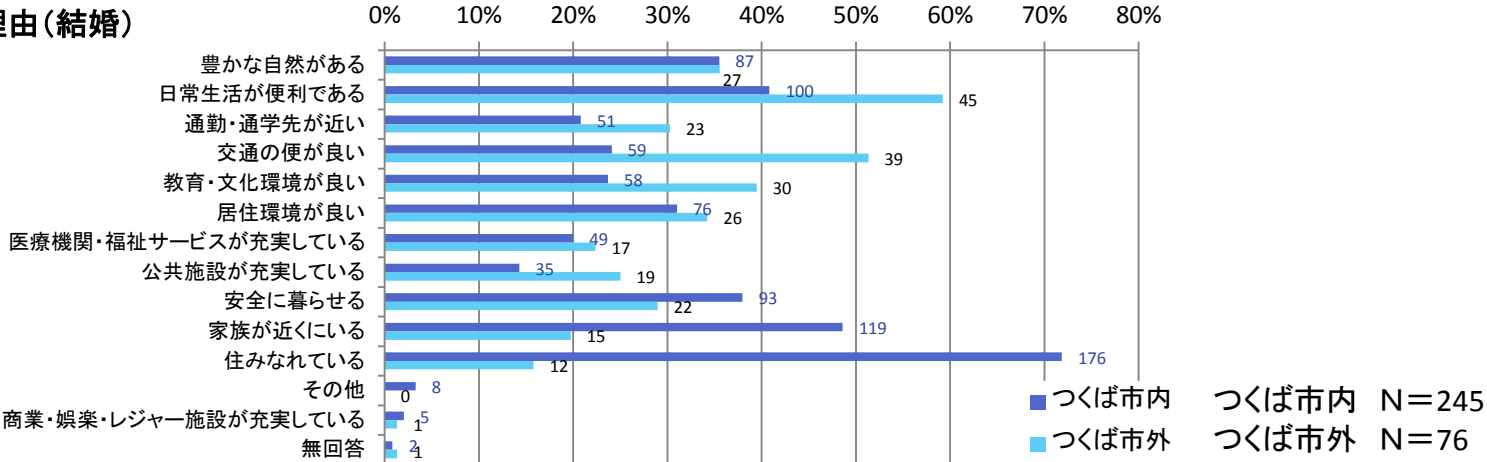
住みたい理由(単身時)

住みたい理由(単身)



住みたい理由(結婚時)

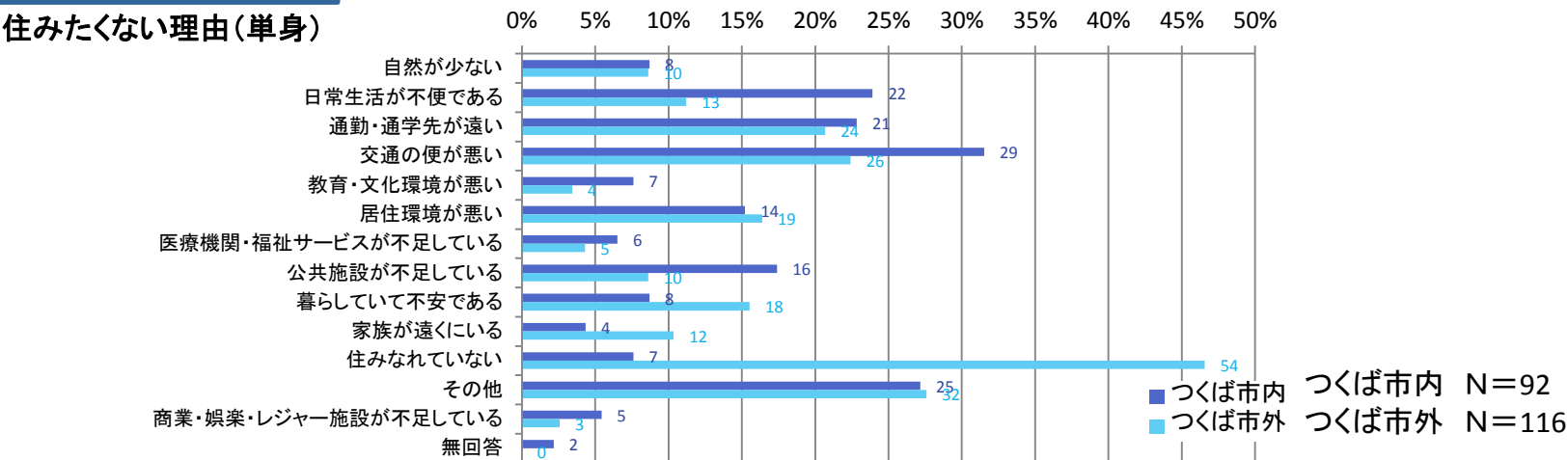
住みたい理由(結婚)



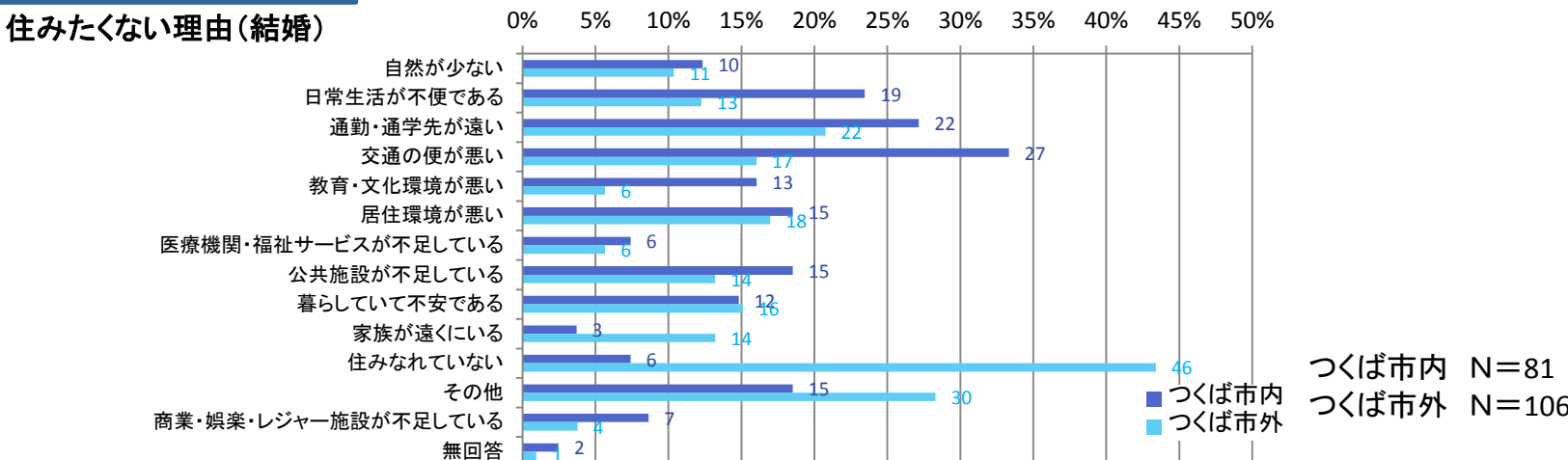
- 日常生活が便利、交通の便が良いの2項目についてつくば市外在住の方が市内在住者と比べて大きく高い結果となった。

住まいに対する希望

住みたくない理由(単身時)



住みたくない理由(結婚時)



・ 市内在住者は交通の便が悪い、日常生活が不便という項目が高い結果となった。

大学生進路動向調査

1. 調査概要(対象・期間・実施方法・回収記録)
2. 大学生進路動向調査 集計結果 中間報告版

対象・期間・実施方法・回収記録

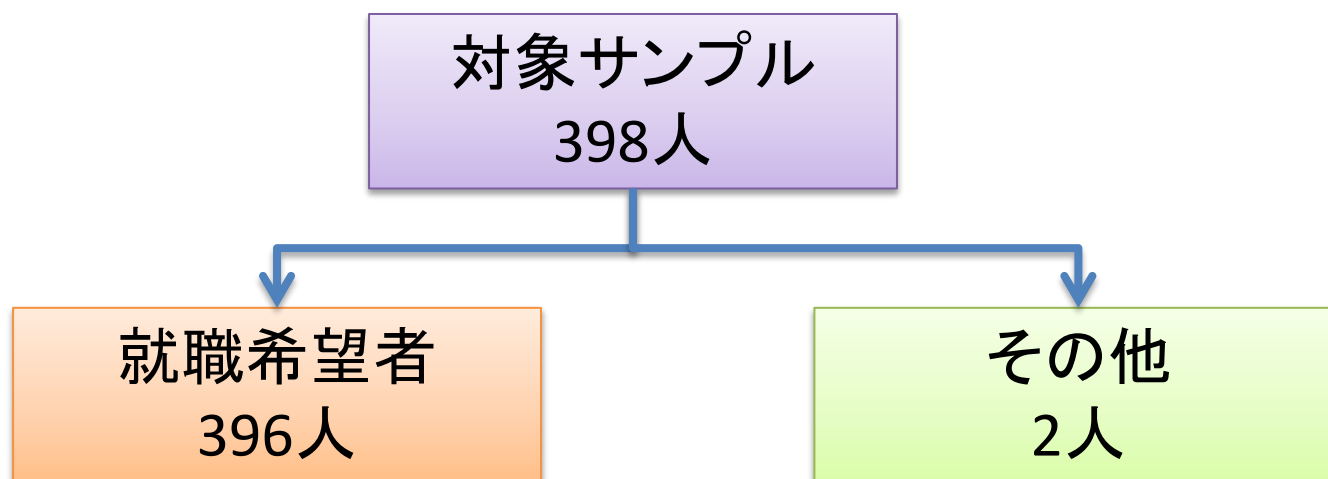
アンケート種類	対象	調査期間	実施方法
大学生アンケート	大学卒業予定者の進路動向を調査し、卒業又は就職時の就職地の希望やつくば市への定住希望等を把握する。	6月28日～ 7月12日 (回収数の増加 対策をして7月 17日まで延長)	WEB調査法 ・筑波大学 ・筑波学院大学 ・筑波技術大学

アンケート回収記録

	6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日
日別回収数	23	31	26	9	8	—	—	8	4	1	5	31	—	—	205	12	18	5	12
合計	23	54	80	89	97	—	—	105	109	110	115	146	—	—	351	363	381	386	398
備考											学生への 協力アナ ウンス								

回答者階層

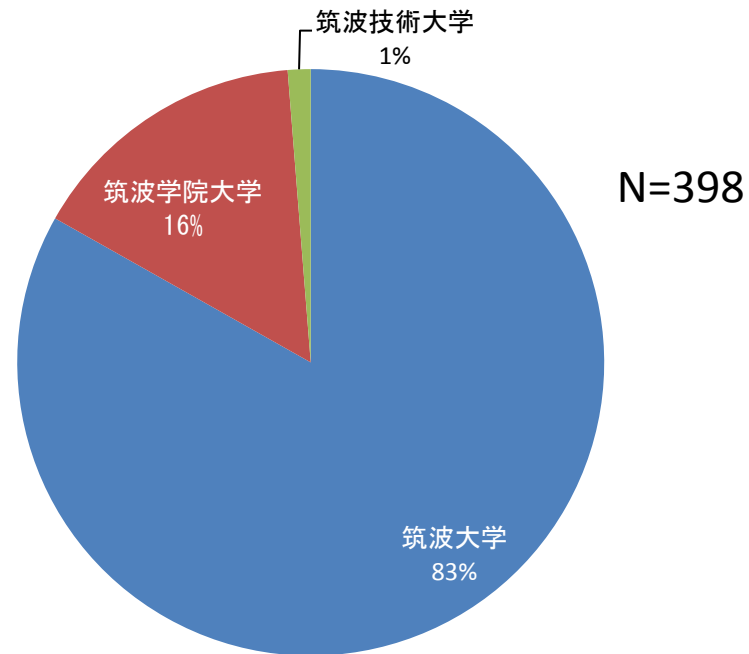
今回の集計における各階層の分類。
集計表またはグラフにおけるNの値は、以下のように整合される。



回答者属性

大学

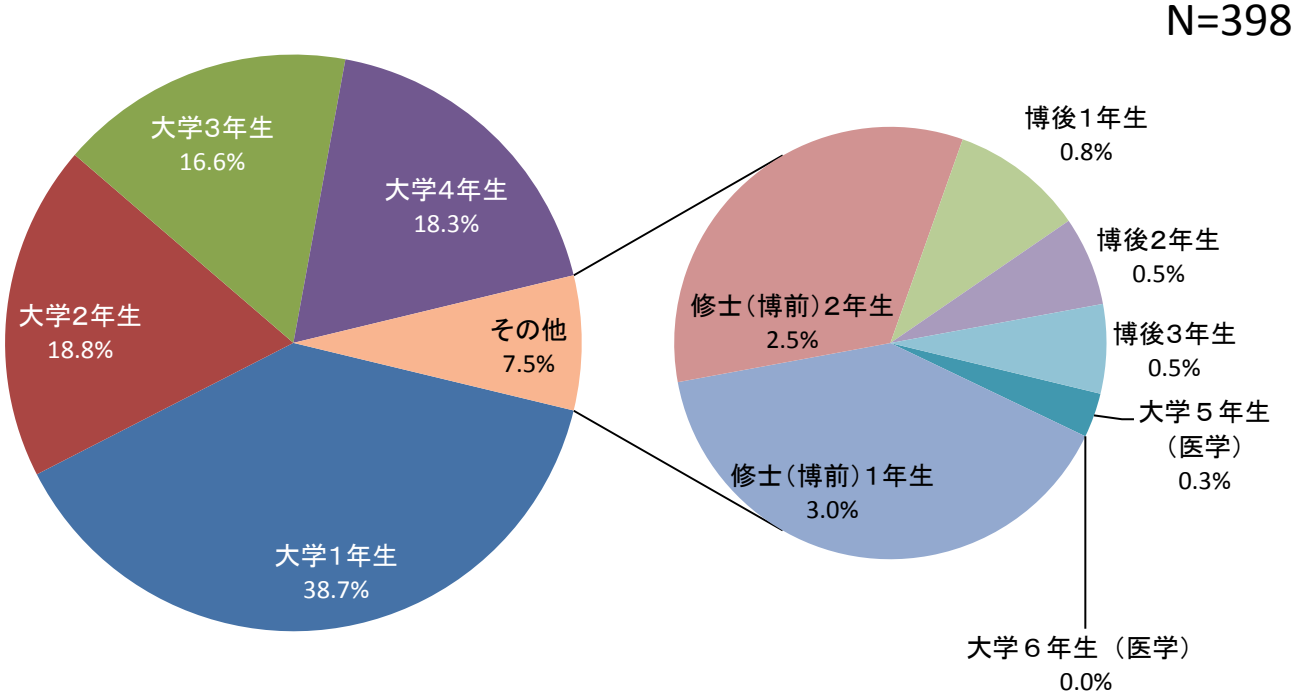
- 筑波大学が実際の学生数と比例して最も多く、83.2%を占める結果となっている。



回答者属性

学年

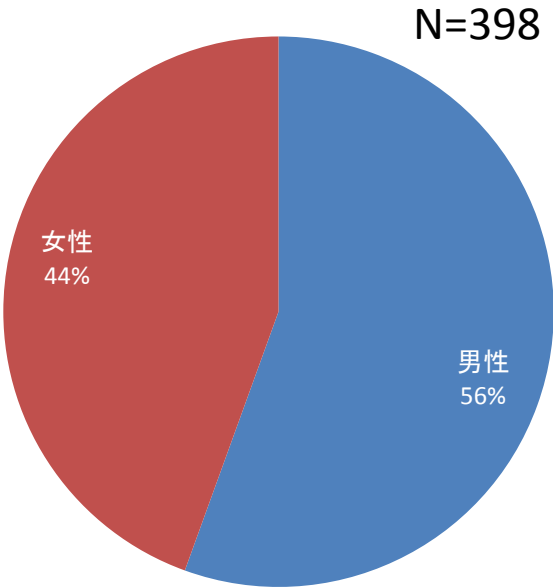
- 大学1年生が38.7%と最も多い。
- それ以上の学年では学部生はほぼ同じ回答者数であるが院生については少なくなっている。



回答者属性

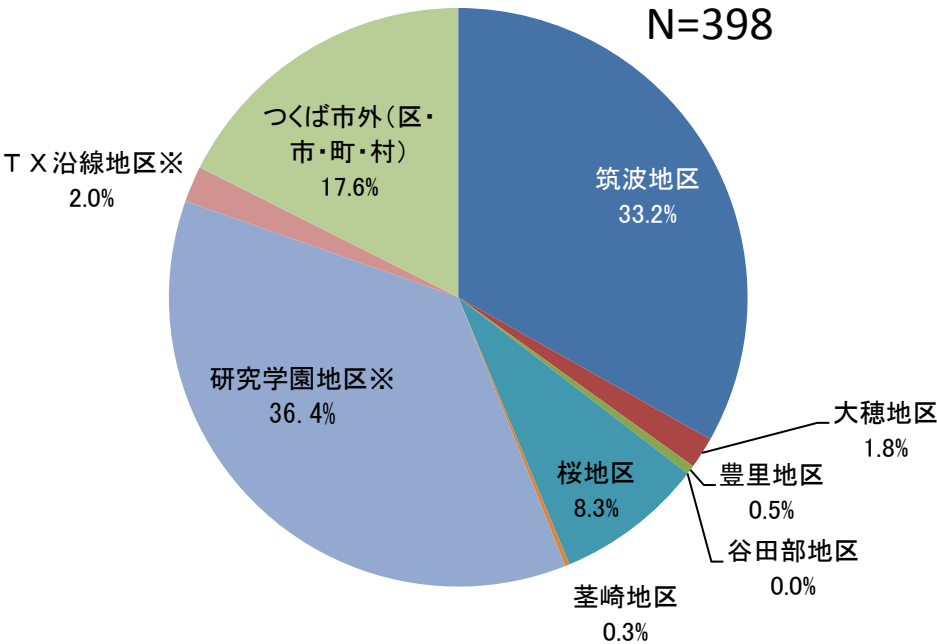
性別

- 男性が56%、女性が44%と男性の割合が高くなっている。



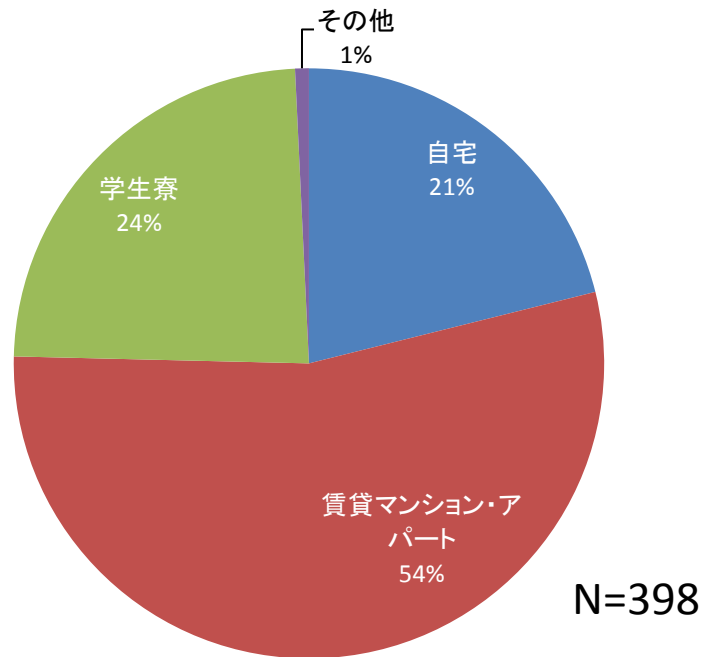
住まい

- 約80%の学生がつくば市内に住んでおり、中でも大学の近くであるつくば地区、研究学園地区に住んでいる人が全体の70%を占めている。



回答者属性

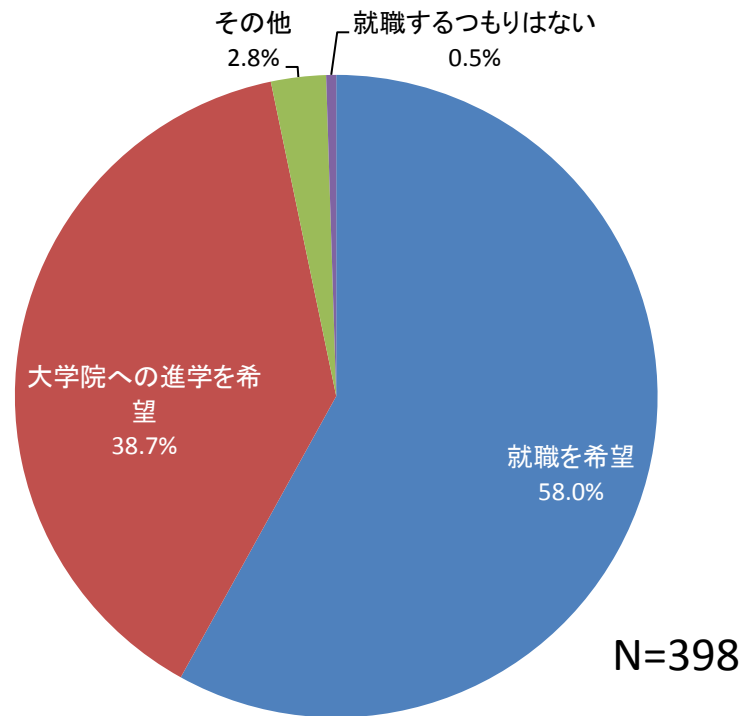
居住形態



- 居住形態は賃貸マンション・アパートの方が半数を超えており、自宅から通学している人は21%に留まっている。

就職に対する希望

希望進路

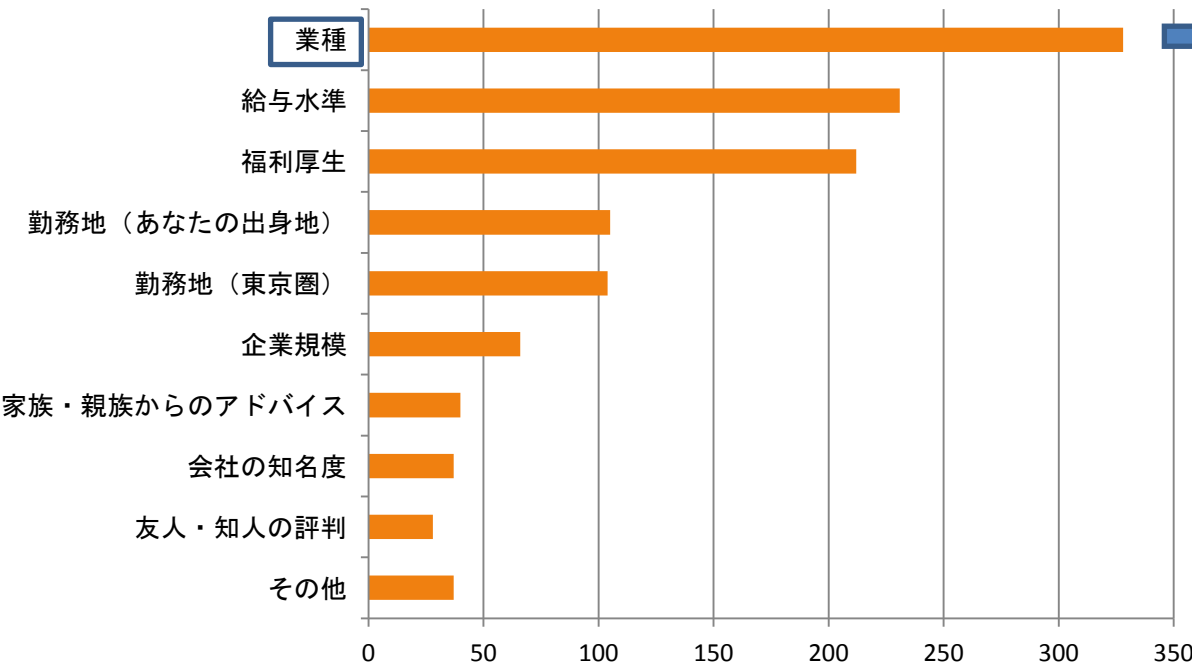


- 希望進路については就職が58.0%、進学が38.7%となっている。

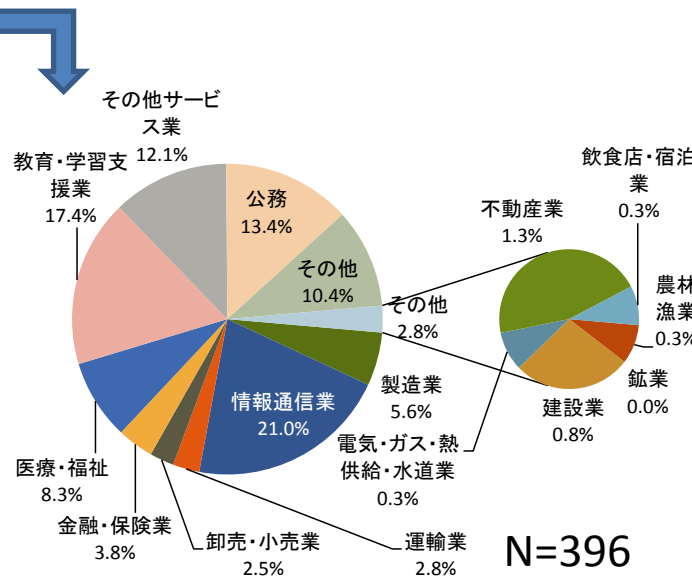
就職に対する希望

就職先を決める際に重視すること

- 業種を重視する人が多い結果となった。
- 次いで、給与水準・福利厚生という結果になった。



N=396,3つまで選択

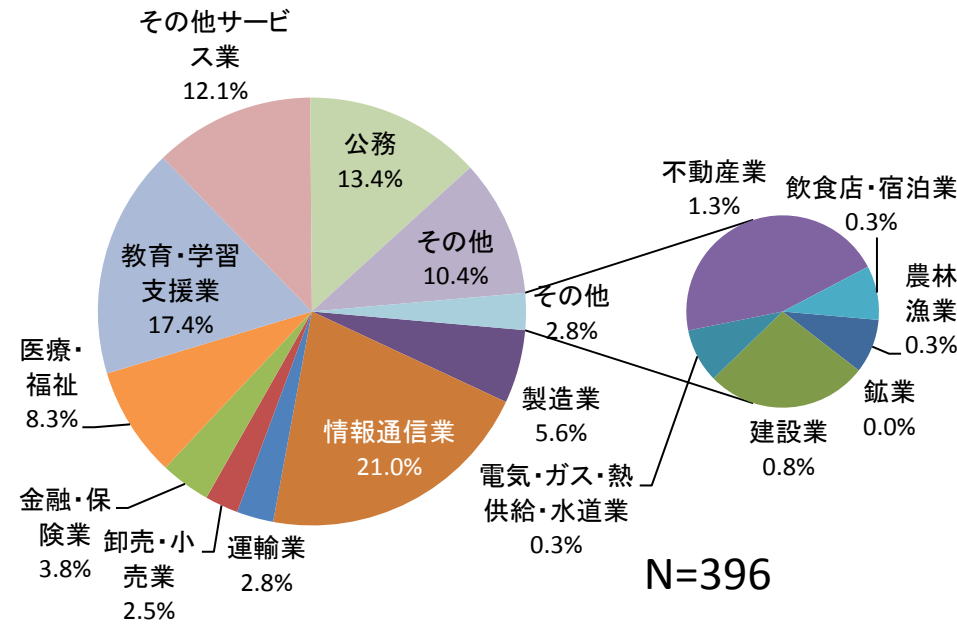


N=396

就職に対する希望

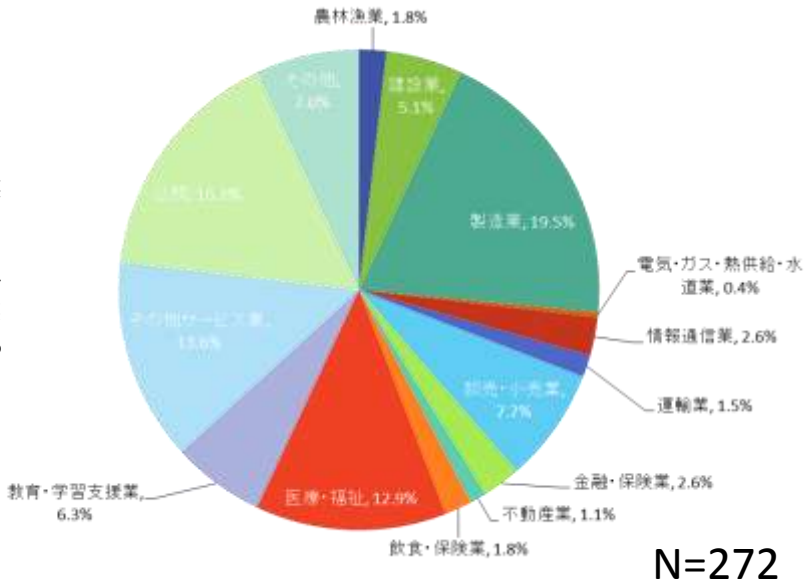
希望業種

- 情報通信業、教育・学習支援業が多い結果となった。



就労している業種(市民意向調査より)

- 製造業が19.5%と最も高く、次いで、公務、その他サービス業、医療・福祉となっている。

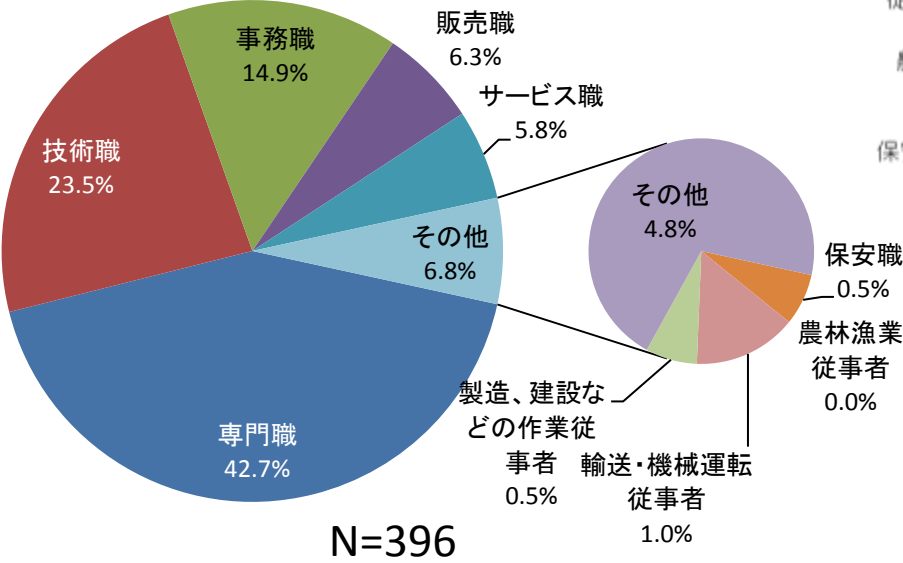


- 情報通信業、教育・学習支援業が多いが、実際に就職している人の割合は情報通信業が2.6%、教育・学習支援業6.3%となっており、学生の希望する業種がつくば市内において求人需要が低い可能性がある。

就職に対する希望

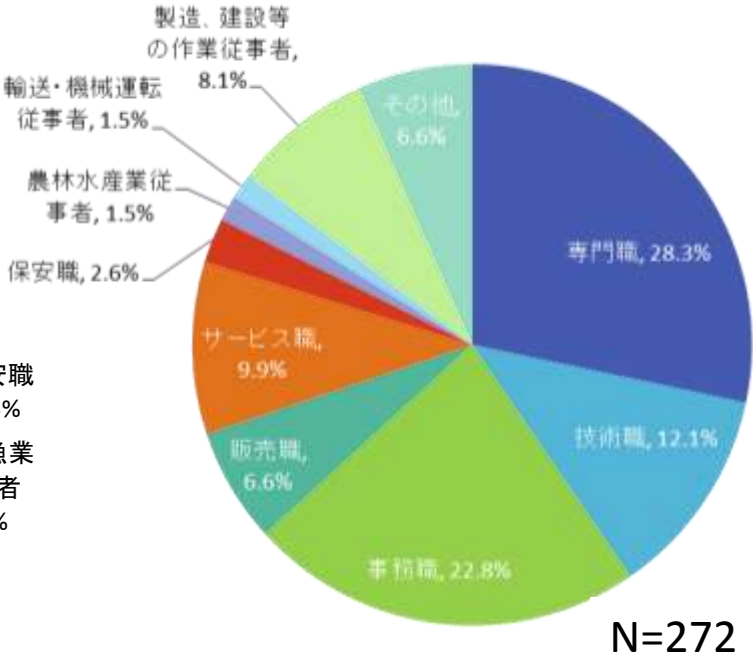
希望職種

- 専門職が多く、次いで、技術職、事務職という形になった。
- 農林漁業従事者の希望は0人という結果になった。



就労している職種(市民意向調査より)

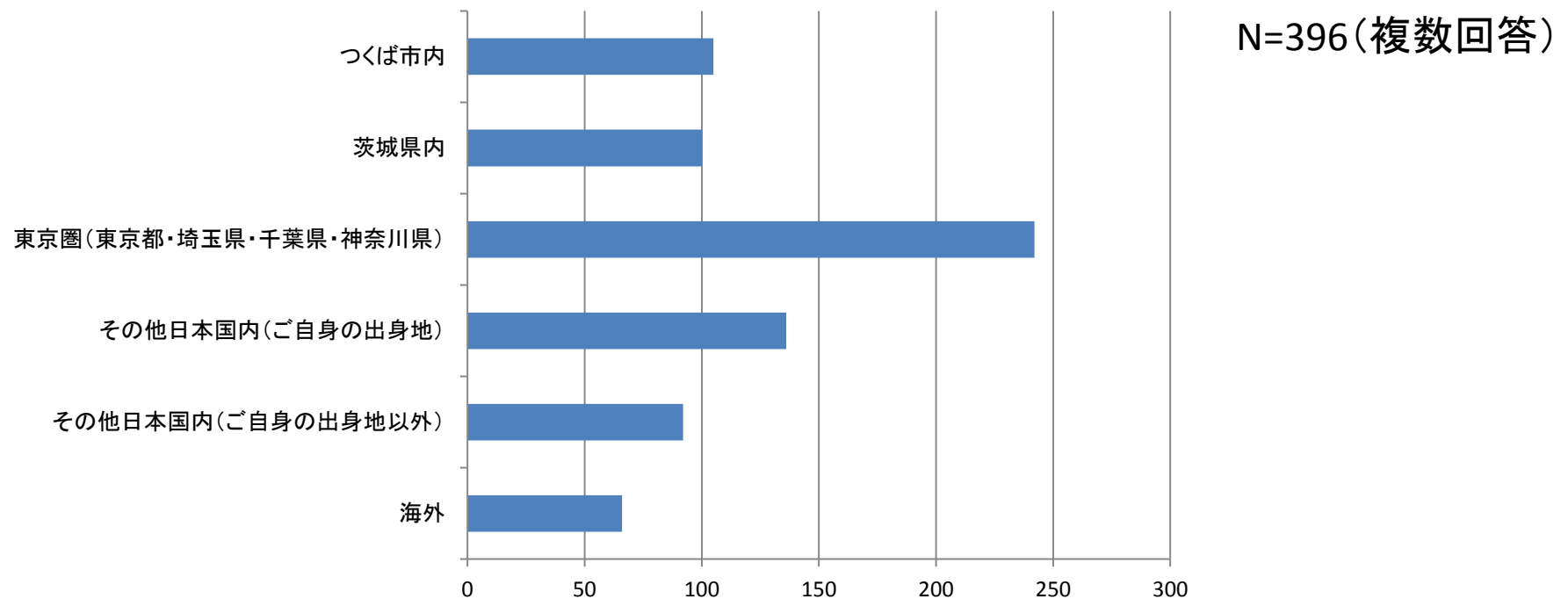
- 専門職が28.3%と最も多く次いで、事務職、技術職となっている。



就職に対する希望

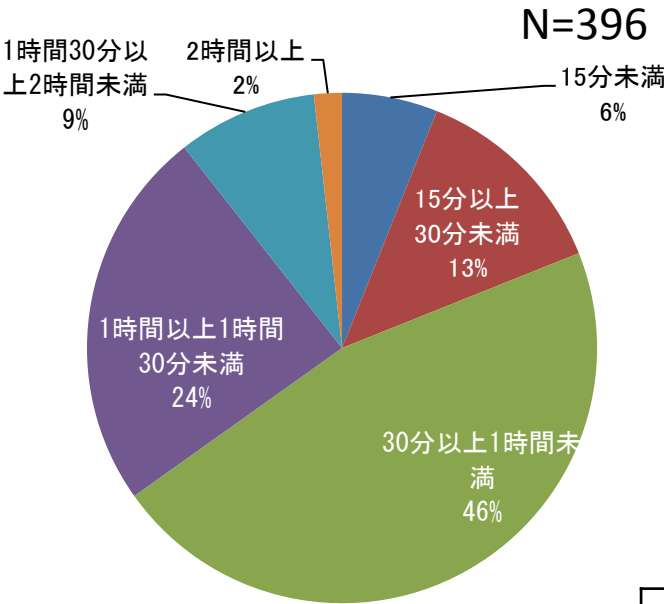
希望勤務地

- 東京圏と回答した人が最も多く、次いで自分の出身地という回答になった。



就職に対する希望

通勤・通学時間として
許容できる時間



- 1時間未満と回答している人が約65%という結果となった。
- 東京圏への就職を希望する人が多いことから、就職を機に通勤に便利な地へ転出していると考えられる。
- TXが利用可能であるにもかかわらず転出している実態がある。

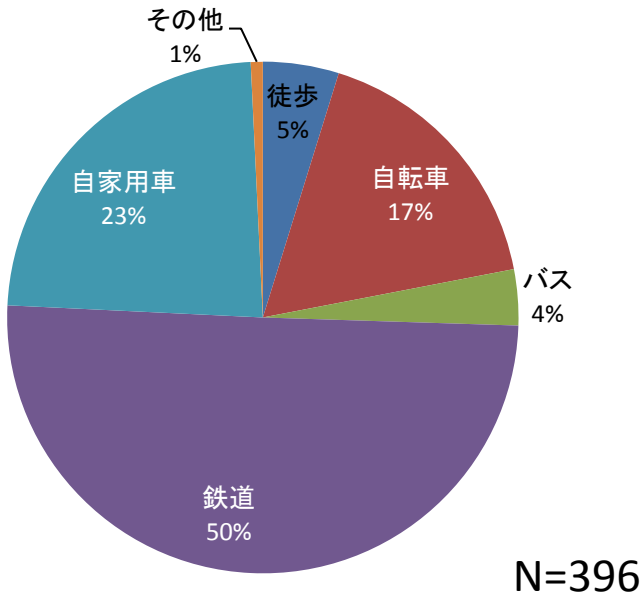
※参考：東京圏までの所要時間(TX快速利用)

つくば駅から1時間	東京駅、池袋駅、船橋駅
つくばー北千住	34分
つくばー秋葉原	45分

住まいに対する希望

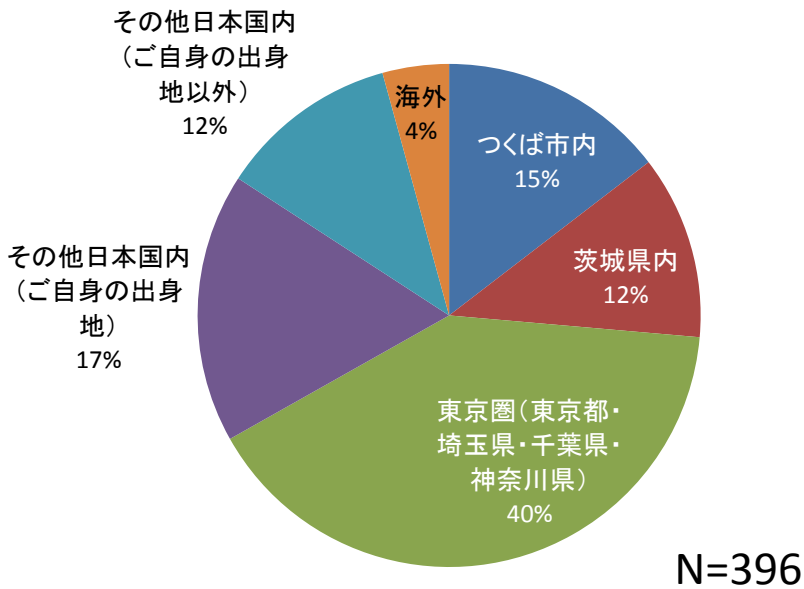
交通手段の想定

- 鉄道が50%と高い結果となった。
- 次いで、自家用車、自転車となっている。



卒業後の住まい

- 東京圏と回答する人が最も多く40%を占めるが、つくば市内・茨城県内と回答する人も約30%いた。

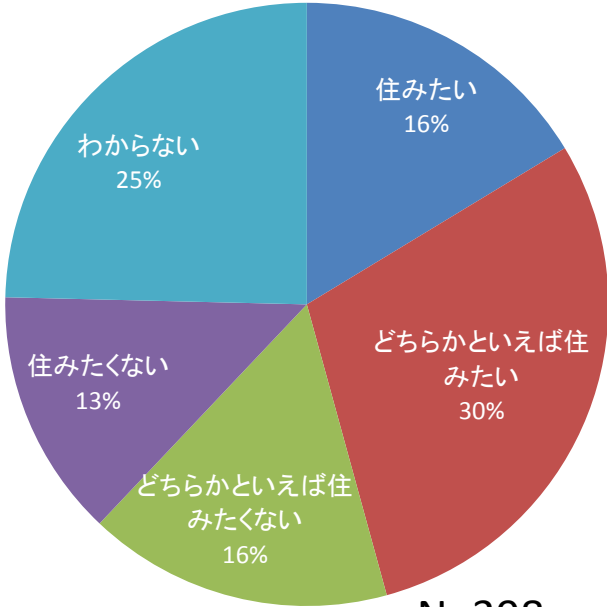


住まいに対する希望

つくば市に住みたいか(単身時,結婚時)

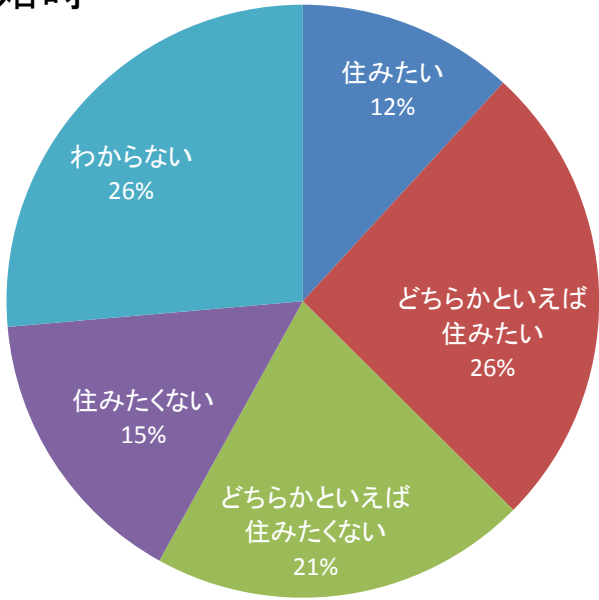
- 単身時、結婚時ともに「住みたい・どちらかと言えば住みたい」が「住みたくない・どちらかと言えば住みたくない」と回答している人を上回っている。
- 単身時と結婚時で比較を行うと、結婚時の方が「住みたい・どちらかと言えば住みたい」と回答している人の割合が少なくなっている。

■ 単身時



N=398

■ 結婚時



N=398

住まいに対する希望

つくば市に住みたい理由、住みたくない理由

- 住みたい理由では教育・文化環境、居住環境の良さが高い。
- 住みたくない理由では交通の便の悪さ、商業・娯楽施設の不足が高い。
- 日常生活の利便性については住みたい、住みたくない両方で高い値となっている。

